

# ■花や咲く咲く (p. 28 ~ 31)

## ◆読解◆

### ◆ステップ1

- ① 戦争  
② 制限  
③ 三秀美  
④ 布地
- ① 幼なじみ  
② 三秀美  
③ 則子  
④ 和み  
⑤ ブラウス  
⑥ デザイン  
⑦ 母

※③、④は順不同可。

### ◆ステップ2

#### 【場面1】

- 1 神様からの賜り物
- 2 ① 幸せ  
② 感動
- 3 ウ
- 4 ① 妖艶  
② 清々しさ
- 5 ① 親友をモデルにして、あれこれデザインを考えることで、空  
腹や戦況への危惧、将来への不安を忘れ去れたから。

#### ◆【場面2】

◆ エ

#### ◆【場面3】

- ① 戦争 (戦時)
- ② 例喜ぶ顔

### ◆ステップ3

- 1 ① 例 楽しさ、明るさ、幸せ、心のゆとり、日常生活、平和、希望、  
未来 など

## 2

(選んだ人物の名前) 例 則子

例 華やかな洋服などもう着られないと思っていたけれど、こんなにしてきなブラウスができるかもしれないなんて。いろいろ考えてデザイン画にしてくれた三秀美、本当にありがとう。感動して、幸せで、思わず泣いてしまったわ。

### 登場人物の立場になって想像を広げよう



「花や咲く咲く」の舞台は昭和十八年の日本。  
戦争 (第二次世界大戦) が激しさを増している時代だよ。  
もし自分が三秀美たちの同級生だったら、と考えてみよう。  
紙質のよいノートも、本物の砂糖も贅沢品。  
食べ物不足していて、好きな服を着ることもできない。  
友達と大きな声で笑い合うだけで、憲兵が家に踏み込んでくるかもしれない。  
そんな窮屈な生活を強いられていたんだ。  
さらに、戦時中という時代背景からくる不安や緊張が、常に心の中にあつたことも忘れてはいけないね。  
そんな中、思いがけず手に入れた美しい布地でブラウスを作れることが、三秀美たち四人にとってどんなにうれしかったか、想像できたかな。